

防災講演会

# 地域を守り抜く力!

## 災害に強い紀伊半島を共に



平成23年の東日本大震災と紀伊半島大水害はこれまでの災害対策を根本から見直すきっかけになりました。これからの災害対策は、想定外の事態が起こることを前提にすることが必要です。また、災害対応をより効果あるものにするためには、「災害に強いまちづくり」と「災害に強いひとづくり」を密接に結び付けて取り組んでいくことが望まれます。そこで、山間部が多く海岸線が長い紀伊半島に適した防災技術の開発や、防災教育、防災計画に関する最新の研究事例の紹介を通して、災害に強い紀伊半島を一緒に考えるための講演会を開催いたします。皆様の参加をお待ちしています。

# 2014.2.1 (Sat) 10:00-16:00 ※受付は9:15から

会場：新宮市職業訓練センター（〒647-0013 和歌山県新宮市春日1番35号）

定員：200名 参加費：無料

- 事前申込は不要です。会場まで直接お越しください。
- 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

講演

- ① 平成23年台風12号災害発生後における熊野川地域の対応状況と孤立集落に関する課題
- ② 平成23年台風12号による和歌山県内の河川災害（破堤、護岸損壊など）
- ③ 平成23年台風12号による和歌山県内の土砂災害
- ④ 平成23年台風12号による世界遺産の被害
- ⑤ ダム流木について考える
- ⑥ 地域で備える木造仮設住宅
- ⑦ 災害から命を守る防災教育
- ⑧ 災害時要援護者支援のしくみづくり

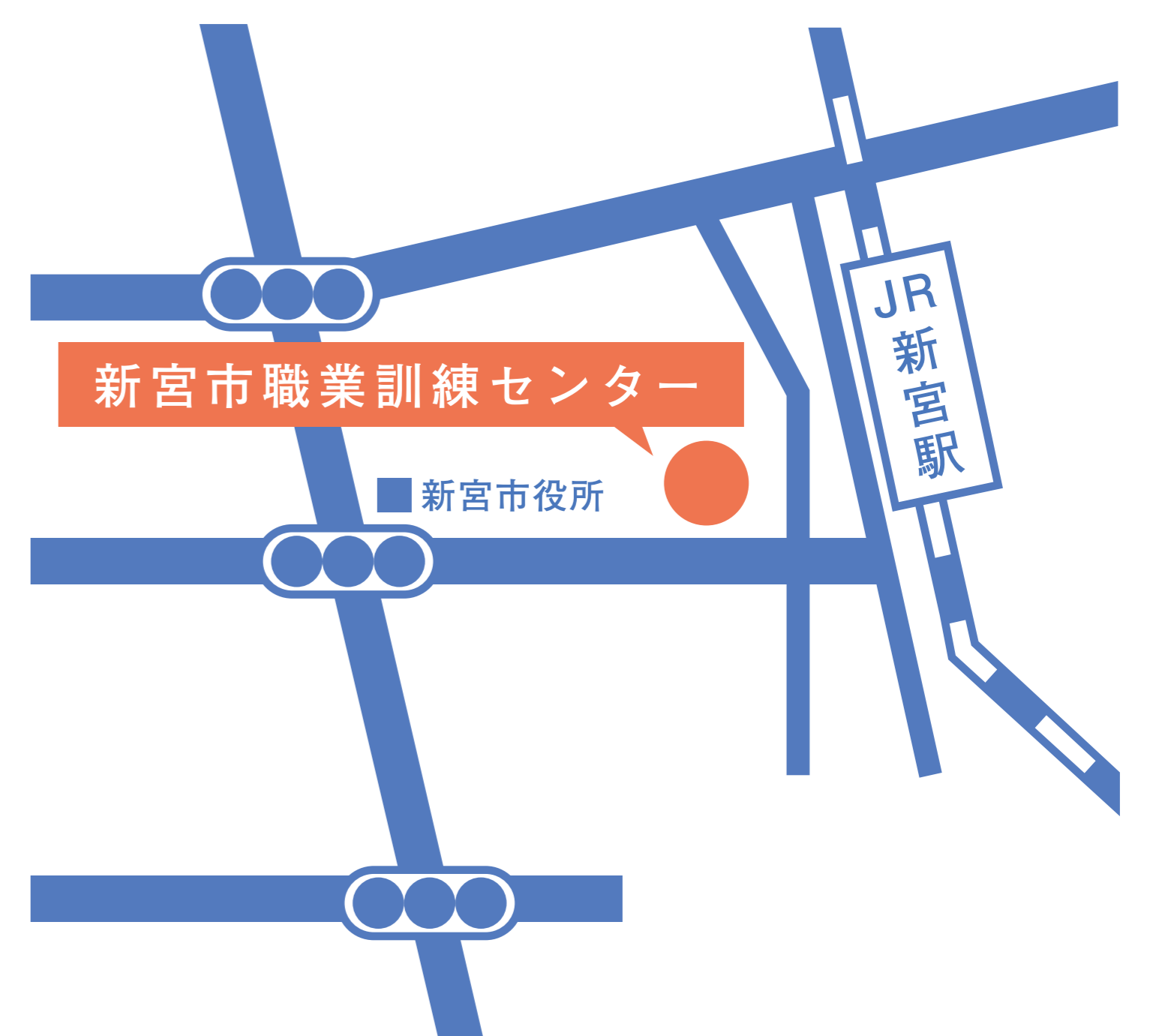
実演・展示

- ⑨ 新しい画像計測手法を使った斜面災害前兆検知システム
- ⑩ 建造物の安全を守る超音波応力計測システムの開発
- ⑪ 毎日使おう！災害時支援システム
- ⑫ 災害に強い情報通信技術の開発
- ⑬ 避難所パーティション、ペール缶コンロ、JAXAプロジェクトなど

ポスター

- ⑭ 災害対応のためのロボット技術
- ⑮ 鉄道乗車中、津波から避難するためには
- ⑯ 地域防災に対する住民満足と高齢者の移動利便性

会場までのアクセス



JR 紀勢本線(きのくに線)新宮駅下車  
駅前広場から北側踏切を渡り徒歩5分

問い合わせ先：江種伸之（和歌山大学 システム工学部 環境システム学科） TEL：073-457-8331 E-mail：egusa@center.wakayama-u.ac.jp  
和歌山大学防災研究教育センター TEL：073-457-7558, E-mail：bousai@center.wakayama-u.ac.jp  
〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930番地

主催：和歌山大学防災研究教育センター

「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会（(公社)地盤工学会関西支部 / (一社)日本応用地質学会関西支部 / 関西地質調査業協会 / 中部地質調査業協会合同委員会）

共催：(公社)地盤工学会関西支部 / (一社)日本応用地質学会関西支部 / 関西地質調査業協会 / 中部地質調査業協会

後援：和歌山県 / 新宮市 / 那智勝浦町 / 紀宝町 / 御浜町 / 和歌山県教育委員会 / 新宮市教育委員会 / 東牟婁地方教育委員会連絡協議会 / 紀宝町教育委員会 / 御浜町教育委員会 / 和歌山県社会福祉協議会 / 新宮市社会福祉協議会 / 那智勝浦町社会福祉協議会 / 紀宝町社会福祉協議会 / 御浜町社会福祉協議会 / 新宮青年会議所 / 西日本旅客鉄道(株)和歌山支社 / 熊野新聞 / 紀南新聞 / (株)ZTV新宮放送局

本講演会は、平成25年度和歌山大学独創的研究支援プロジェクトおよびJSPS科研費25242037の支援を受けています。